



環境活動レポート 2023

(運用期間 2022年12月~2023年11月)



株式会社 坪井商店

2024年2月21日作成

環境方針

（環境理念）

私たち(株)坪井商店は、古紙のリサイクル事業を通じ、森林保護、CO2削減等、「地球環境への調和」を掲げ、全従業員が事業活動のあらゆる面で、地球環境に影響を与えていることを配慮して行動し、自然環境と調和した環境型社会の実現に向け、環境保全活動の向上をはかります。

（行動指針）

環境経営システムを構築し、次の事項を重点的なテーマとして、環境目標を設定・見直しなどの効果的な取り組みを行います。

1. 二酸化炭素の削減
2. 廃棄物の排出量の削減
3. 水使用量の削減
4. 地域社会における環境保全活動に積極的に参加
5. エコステーションの設置
6. グリーン購入の推進
7. 法の遵守
8. 環境経営の継続的改善を誓約

株式会社 坪井商店
代表取締役 坪井靖明

平成 19 年 1 月 11 日制定
令和 6 年 2 月 16 日改定

1. 事業概要

1) 事業者名及び

代表者

株式会社 坪井商店

代表取締役 坪井 靖明

2) 法人設立年月日

1964年 6月26日

3) 所在地

本社・工場 〒800-0215 北九州市小倉南区上曽根新町 12 番 12 号
小倉北支店・工場 〒802-0021 北九州市小倉北区高浜 2 丁目 7 番 47 号
苅田支店・工場 〒800-0313 福岡県京都郡苅田町磯浜町 2 丁目 1 番 34 号
行橋支店・工場 〒824-0041 福岡県行橋市大野井 875 番 2 号
福岡支店・工場 〒838-0211 福岡県朝倉郡筑前町下高場 2048 番 1 号

4) 環境管理責任者

及び事務局

環境管理責任者 坪井 謙和

EA-21 事務局 北九州市小倉南区上曽根新町 12 番 12 号

5) 連絡先

連絡担当者 寺岡 典之

T E L : 093-474-6101

E-mail : info@tsuboishoten.com

U R L : <https://tsuboishoten.com/>

6) 事業規模

資本金 30 百万円

従業員 39 名 (2023 年度)

売上高 812 百万円 (2023 年度)

床面積 3840 m²

敷地面積 11720 m²

7) 事業活動の内容

古紙のリサイクル事業

機密文書処理

紙類販売

8) 登録・認証範囲

全組織・全事業・全従業員

本社：北九州市小倉南区上曽根新町 12 番 12 号

支店：小倉北支店・苅田支店・行橋支店・福岡支店

9) 事業年度

12月～翌11月

2. 当年度及び中期の環境目標

| | | 単位 | 2022 年度 (基準年度) | 目 標 | | |
|---|--------------|------------------------|-------------------|----------------|----------------|----------------|
| | | | | 2023 年度 | 2024 年度 | 2025 年度 |
| 1 | 二酸化炭素排出量削減 | kg-CO2/販売数量(10t) | 161.3 | 161.1 ▲0.1% | 160.9 ▲0.2% | 160.8 ▲0.3% |
| 2 | 廃棄物総排出量の削減 | t/販売数量 (10t) | 39.2 | 39.1 ▲0.1% | 39.1 ▲0.2% | 39.0 ▲0.3% |
| 3 | 水使用量の削減 | m ³ /出勤日(年) | 2.2 | 2.2 ▲0.1% | 2.2 ▲0.2% | 2.2 ▲0.3% |
| 4 | グリーン化商品購入の推進 | 件数 | 27 | 28 | 29 | 30 |
| 5 | エコステーションの設置 | 台/年 | 1 | 1 | 1 | 1 |
| 6 | 環境教育の取組 | 回数/年 | 4 | 4 | 4 | 4 |

※排出係数は日本テクノ(株)の2022年度の0.465調整後排出係数(kg-CO2/kWh)を使用

3. 当年度の主要な環境活動計画の内容

- | | |
|---------------------------------|-----------|
| (項目) | (責任者) |
| 1) 二酸化炭素排出量の削減 | (坪井謙和) |
| ① 電気使用量の削減 | |
| ・未使用区域の消灯の徹底及び節電シールの表示で従業員の意識向上 | |
| ・電気機器、換気扇等の不使用時の停止 | |
| ・室内温度設定の徹底 | |
| ・設備のアイドルングストップ | |
| (項目) | (責任者) |
| ② 燃料使用量の削減 | (本社 衛藤智) |
| ・アイドルングストップの徹底 | (北店 青木淳一) |
| ・効率の良い作業スケジュールの検討実施 | (行橋 中村順尚) |
| ・車両の燃料使用量と走行距離のチェック | (福岡 稲倉良一) |
| ・エコドライブの徹底 | (苅田 吉元秀樹) |
| 2) 廃棄物の総重量削減 | |
| ・金属くず等のリサイクル | |

- ・事務所から排出される廃棄物の分別徹底
- ・廃プラのリサイクル

3) 水使用量の削減

- ・水漏れ防止の点検

4) グリーン化商品購入の推進

- ・グリーンマークのついた物を購入

5) エコステーションの設置

- ・なし (2023年)



6) 環境教育

- ・従業員への環境教育の実施

4. 環境活動の取組結果

| | 単位 | 2022年度 (基準年度) | 2023年度 目標 | 2023年度 実績 | 目標 達成率 (%) |
|---------------|------------------------|------------------|--------------|--------------|------------------|
| | | | (12月～11月) | (12月～11月) | |
| 二酸化炭素総排出量 | kg-CO2 | | | 416261 | |
| 二酸化炭素排出量削減 | kg-CO2/販売数量(10t) | 161.3 | 161.1 | 155.0 | 103 |
| 電気使用量削減 | kWh | 348247 | 347898 | 337516 | 103 |
| 燃料使用量削減(軽油) | L | 101639 | 101537 | 95260 | 106 |
| 燃料使用量削減(ガソリン) | L | 6921 | 6914 | 5739 | 120 |
| 廃棄物総排出量の削減 | t/販売数量(10t) | 39.2 | 39.1 | 40.3 | 97 |
| 水使用量の削減 | m ³ /出勤日(年) | 2.2 | 2.2 | 2.2 | 100 |
| グリーン化商品購入の推進 | 購入量 | 28 | 29 | 29 | 100 |
| エコステーションの設置 | 台数 | 1台/年 | 1 | 0 | 0 |
| 環境教育の取組 | 回数 | 回数/年 | 4 | 4 | 100 |

※排出係数は日本テクノ(株)の2022年度の0.465調整後排出係数(kg-CO2/kWh)を使用

※当年販売数量は26852t、出勤日数は364日

5. 環境活動の取組結果の評価及び次年度の環境目標・

活動計画・取組事項

①次年度環境目標は、P4「当年度及び中期の環境目標」に次年度環境目標を記載しています。

②次年度の環境活動計画

1) 二酸化炭素排出量の削減

- ・二酸化炭素の排出量は155.0kg-CO2で、目標達成率は103%である。二酸化炭素排出量は削減できた。
- ・燃料(軽油・ガソリン)の使用は、エコドライブ・適正な整備を心掛け、日常点検を確実にしている。軽油使用量は、目標達成率を6%削減できた。ガソリン使用量は、目標達成率を20%削減できた。

※従業員に徹底して、削減に取り組んでいく。

- 2) 廃棄物の総量削減
- ・目標に比べ、削減でき目標達成率は、97%であった。
 - ・昨年に続きエコステーションのリサイクルする物の中にゴミ類が多く混入し、廃棄物が増加した。
- 3) 水使用量の削減
- ・日頃より節水を心掛けているため、目標を達成できた。
- ※今後の取り組みとして、より一層の節水を心掛けていく。
- 4) グリーン商品購入の推進
- ・グリーンマークがついている商品を積極的に購入している。
- ※今後も適宜、購入していく。
- 5) エコステーションの設置
- ・設置なし（2023年）
- 6) 環境教育の取組
- ・従業員が環境へ配慮した取り組みとはなにかを自覚するよう教育を行い、各々が環境へ配慮した十分な行動をとるようになってきた。

6. 環境関連法規の遵守結果及び違反、訴訟等の有無

- 「環境関連法規への順守状況をチェックした結果、違反はありませんでした。関係当局より違反等、指導はありませんでした。」

| 法規、条例、規制 | 遵守状況の確認 |
|----------------------|---------|
| 廃棄物の処理及び清掃に関する法律 | 問題なし |
| 消防法 | 問題なし |
| フロン排出抑制法 (改正フロン法) | 問題なし |

7. 代表者による見直しの評価と指示

- エコアクション21 を取り組んで、18年になりました。
エコアクション21 を取り組むことにより、従業員のエコに対する意識も年々高まっております。
エコアクション21 を取り組んだことにより、対外評価もよくなっています。
今後も継続的に、エコアクション21 への取り組みを続けていきます。

8. 優良産廃処理事業者認定制度 情報公表項目

- 1) 法人設立：1964年6月26日
- 2) 資本金：30百万円
- 3) 売上高：812百万円
- 4) 施設等：能力

① 圧縮・梱包機の処理能力

| | 本社工場 | 行橋支店 | 小倉北点 | 福岡支店 | 苅田支店 |
|------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 処理能力 | 16 t/H | 13 t/H | 11 t/H | 12 t/H | 13 t/H |

処理する廃棄物の種類

| | |
|-----------|------------|
| 紙くず・ダンボール | 適正に処理しています |
|-----------|------------|

② 破砕機の処理能力

| | 苅田支店 | 福岡支店 | | | |
|------|---------|-------|--|--|--|
| 処理能力 | 0.8 t/H | 1 t/H | | | |

処理する廃棄物の種類

| | |
|------|------------|
| 機密文書 | 適正に処理しています |
|------|------------|

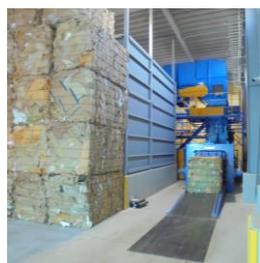
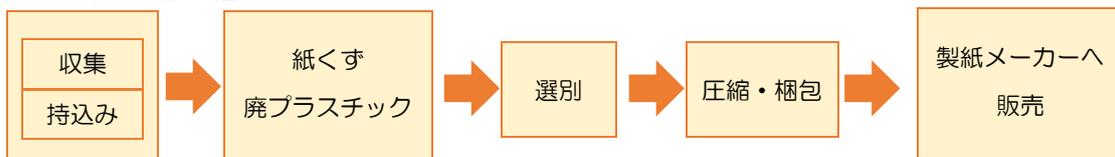
5) 許可等

① 産業廃棄物収集運搬業許可証

| 許可・番号 | 許可年月日 | 許可品目 |
|-------------------|-----------|--|
| 福岡県 4000016110 | 令和2年8月28日 | ・廃プラスチック類・金属くず・ガラスくず(以上3品目については自動車等破砕物を除く)紙くず・木くず・繊維くず・ゴムくず(7品目) |
| | 有効期限 | |
| | 令和7年8月27日 | |

| 許可・番号 | 許可年月日 | 許可品目 |
|--------------------|-----------|---|
| 北九州市 7610016110 | 令和元年8月24日 | ・木くず・繊維くず・ゴムくず・金属くず・ガラスくず(自動車等破砕物を除く)以上5種類積替えを含まない。廃プラスチック・紙くず(自動車破砕物を除く)以上2種類積替えを含む。 |
| | 有効期限 | |
| | 令和6年8月23日 | |

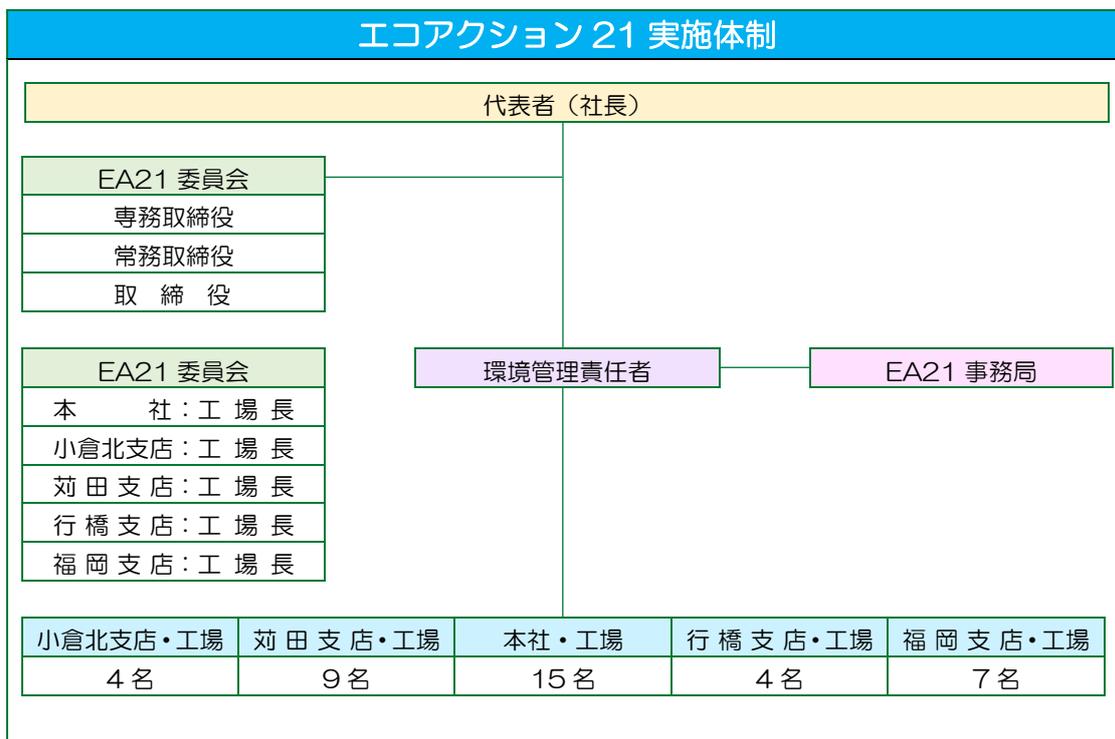
6) 処理工程図



7) 処理量

受託した処理量実績：26852 t / 令和5年度

8) 組織図



役割分担表

| 責任者名 | 役割・責任・権限 |
|----------|--|
| 代表取締役社長 | 全体の統括、環境方針の設定、環境への取組みをするための準備、全体の評価と見直し |
| 専務取締役 | 環境関連法規等の調査担当 |
| 環境管理責任者 | 全体の把握、環境責任者の設定、環境経営システムを構築、運用しその状況を社長に報告する |
| EA21 委員会 | 三ヶ月に一回開催し、環境目標の達成状況及び活動状況の確認表かつ、今後の取組 |
| EA21 事務局 | EA21の文書及び記録類の作成・維持・管理 |
| 本店 | 電力、水消費量の管理 |
| | 廃棄物の排出量管理 |
| | 車燃料(ガソリン、軽油)、灯油消費量の管理 |
| 小倉北支店 | 電力、水消費量の管理 |
| | 廃棄物の排出量管理 |
| | 車燃料(ガソリン、軽油)、灯油消費量の管理 |
| 苅田支店 | 電力、水消費量の管理 |
| | 廃棄物の排出量管理 |
| | 車燃料(ガソリン、軽油)、灯油消費量の管理 |
| 行橋支店 | 電力、水消費量の管理 |
| | 廃棄物の排出量管理 |
| | 車燃料(ガソリン、軽油)、灯油消費量の管理 |
| 福岡支店 | 電力、水消費量の管理 |
| | 廃棄物の排出量管理 |
| | 車燃料(ガソリン、軽油)、灯油消費量の管理 |